

# 「イクメン」で家族しあわせ

～育てる男が家族を変える・社会が動く～

問い合わせ先 本庁舎人権推進課 ☎0857-20-3143



イクメンとは、『子育てを楽しみ、自分自身も成長する男性、または、将来そのような人生を送りたいと考えている男性』のことです。

平成21年に育児休業法が改正され、男性も女性も育児休業を取得しやすくなりました。「男性が子育てに参加することはあたりまえ」と考える人は少なくありませんが、「育児休業を利用したい」と思っている男性は3割程度。そして、実際の取得率は1・89割であり、その大半は数日から数週間の取得であるのが現状です（平成24年度厚生労働省調査）。

男性の家事、育児に関わる時間は、他の先進国と比べて最低水準で、そのことが子どもを持つことや妻の就労継続に対して悪影響を及ぼしているとも言われています。また、

**男性のみなさん、子育てしていますか？**

今、「子育てを楽しみたい」「育児にもっと関わりたい」という男性が多くなっています。そして、「イクメン」という言葉をよく見聞きするようになりました。今回はイクメンを通して、家事・育児・仕事のバランスについて考えます。

| 順位  | 都道府県 | 育児時間(分) |     |
|-----|------|---------|-----|
|     |      | 男性      | 女性  |
| 1   | 埼玉県  | 71      | 431 |
| 2   | 島根県  | 70      | 353 |
| 3   | 宮城県  | 65      | 381 |
| 3   | 秋田県  | 65      | 375 |
| 5   | 岩手県  | 63      | 401 |
| ... | ...  | ...     | ... |
| 39  | 鳥取県  | 38      | 335 |
| ... | ...  | ...     | ... |

幼子がいる夫婦の1日の平均家事・育児時間

女性に比べて、男性は外で働く必要不可欠です。「男は外で働き、女が家庭を守る」というような考え方を直し、各家庭のライフスタイルにあった家庭内の役割分担を考えてい

## 家庭の生活習慣に合わせた役割分担を！

## イクメン Voice !

- ▶限られた時間で仕事をこなすためにより集中して仕事をするようになり、効率を上げることが上手になった。また、職場以外の世界が広がったことで、ストレスを分散することができ、精神的にタフになった。世界が広がったことから、社外の人とのコミュニケーションも円滑になった。  
——20代・育休取得期間 6カ月
- ▶「あなたのおかげで私は仕事ができる」と妻に言われる。家事育児に専念してよかったと思う。  
——30代・育休取得期間 10カ月
- ▶日々の子どもたちの成長を身近で見ることができた。普段も見ているが、育児休暇中は丸1日接することができたので、何気ない成長を感じることができた。  
——40代・育休取得期間 1カ月



**性別に関係なく個人が輝ける世の中に！**

厚生労働省のホームページには「イクメンがもっと多くなれば、妻である女性の生き

一人ひとりが家庭や職場で輝ける世の中をめざしていきたいものです。

くことが求められています。雑誌などでイクメンを取り上げた記事をよく目にしますが、その中には子育ての楽しさがあふれています。子どものことや妻のために頑張っている男性が多く見られ、周囲からもさまざまな声が寄せられています。



方が、子どもたちの可能性が、家族のあり方が大きく変わっていくはず。そして社会全体も、もっと豊かに成長していくはず」と記されています。



# おめでとうございます！ 第38回 鳥取市文化賞

11月3日、市の文化・芸術の振興に功績のあった人をたたえる「鳥取市文化賞」の贈呈式が仁風閣で行われました。この度は、次のみなさんが受賞されました。  
本庁舎文化芸術推進課 ☎0857-20-32266



＜文化賞特別功績賞＞  
【漫画】谷口ジローさん 65歳（東京）

昭和46年、『喰われた部屋』で漫画家デビュー。ハードボイルドや動物、冒険、文芸、SFなど、多彩な分野の作品を手がける。郷里を舞台にした作品も多く、鳥取大火で絆を断たれた家族と和解を描いた『父の暦』、久松山や仁風閣が舞台の『魔法の山』、『孤独のグルメ鳥取編』などがある。また、倉吉を舞台とした『遙かな町へ』は、海外で映画化され、平成25年にはDVDとして全国発売された。平成23年には、フランス芸術文化勲章シュヴァリエを受章するなど、世界的な評価も高い。

本市で原画展を3回開催するなど市民なじみが深い。鳥取市ストーリー公募漫画制作事業の審査委員長を務めたほか、「国際まんが博」では鳥取県を代表する3巨匠の1人として広く紹介されるなど、漫画による本市の文化振興や情報発信に大きく貢献している。



＜文化賞＞  
【工芸（七宝）】森規子さん 75歳（江崎町）

昭和60年、岡垣幸得氏に師事し、岡垣七宝研究所で研鑽を重ね七宝の技術を習得する。

平成2年建設の鳥取市総合福祉センター「さざんか会館」の玄関ロビーを飾る日本最大の七宝壁画の制作に指導者の一人として参画する。

日本七宝作家協会展覧会賞2回、中国七宝協会展覧会鳥取知事賞2回など多くの展覧会で受賞するとともに、公益社団法人日本七宝作家協会理事および中国七宝協会山陰地区幹事として全国的に活躍している。

七宝の伝統を踏まえた現代的な表現を信条とし、近年、海をモチーフにした作品を手掛けている。



曲名：祝い歌～新しき年の始の～  
作詞：大伴家持  
歌詞構成・作曲・歌唱：新井満  
収録曲：①歌唱バージョン、②カラオケ、③箏曲バージョン、④演奏バージョン、⑤チャイムA、⑥チャイムB  
発売日：12月14日（土）  
価格：500円（税込）  
販売場所：本庁舎文化芸術推進課、因幡万葉歴史館、国府町総合支所地域振興課、市内各レコードショップ ほか  
※通販のご希望はお問い合わせ先へ



新曲を披露する新井さん

千年の時をこえて、鳥取ゆかりの愛唱歌誕生!!  
**新井満さん作曲 「祝い歌」新しき年の始の」CDが発売されます！**

「祝いの歌」は、万葉集全4516首の最後を飾る名歌として知られています。

「市民の宝であるこのおめでたい和歌にメロデーをつけ

て地域の活性化につなげたい」との本市からの依頼を受けて、『千の風になつて』の訳詩・作曲で知られる新井満さんが、荘重で親しみやすいメロディをつけ、鳥取市民にプレゼントしていただきます。

10月20日に万葉フェスティバルin鳥取で新曲発表されたこの曲を、CDとして販売します。